

運用報告書 (全体版)

第21期<決算日2021年7月26日>

マネックス・日本成長株ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2000年7月26日から無期限です。
運用方針	主として、わが国の企業の中から、インターネットビジネスの普及・拡大により、高い利益成長が期待できる企業の株式を中心に積極的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。
主要投資対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	個別企業調査や産業調査など広範かつ精緻なファンダメンタルズ分析に基づき個別企業の投資価値判断を行い、投資魅力が高いと判断される銘柄を厳選し投資します。株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。純資産総額の30%の範囲内で外貨建資産への投資を行うことがあります。外貨建資産への投資にあたっては、機動的な為替ヘッジにより、為替変動リスクの低減に努めます。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
分配方針	毎期、原則として繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

愛称：ザ・ファンド@マネックス

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「マネックス・日本成長株ファンド」は、2021年7月26日に第21期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
17期(2017年7月25日)	20,033	500	39.9	1,617.07	22.0	98.2	—	2,676
18期(2018年7月25日)	28,146	500	43.0	1,753.48	8.4	94.8	—	5,619
19期(2019年7月25日)	25,801	0	△8.3	1,577.85	△10.0	95.9	—	5,506
20期(2020年7月27日)	28,712	250	12.3	1,576.69	△0.1	98.0	—	4,500
21期(2021年7月26日)	38,079	250	33.5	1,925.62	22.1	98.7	—	5,218

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) 東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。

なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証または販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません (以下同じ)。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

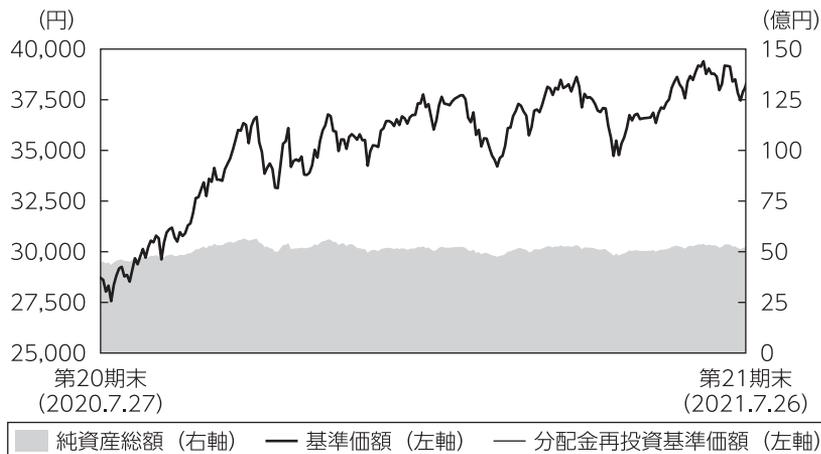
年月日	基準価額		東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	%	ポイント	%	%	%
2020年7月27日	28,712	—	1,576.69	—	98.0	—
7月末	27,562	△4.0	1,496.06	△5.1	96.6	—
8月末	30,457	6.1	1,618.18	2.6	97.3	—
9月末	33,557	16.9	1,625.49	3.1	97.5	—
10月末	33,164	15.5	1,579.33	0.2	98.0	—
11月末	36,242	26.2	1,754.92	11.3	96.9	—
12月末	36,093	25.7	1,804.68	14.5	98.5	—
2021年1月末	36,026	25.5	1,808.78	14.7	97.3	—
2月末	35,194	22.6	1,864.49	18.3	95.6	—
3月末	37,249	29.7	1,954.00	23.9	96.6	—
4月末	36,964	28.7	1,898.24	20.4	96.8	—
5月末	36,595	27.5	1,922.98	22.0	96.5	—
6月末	39,401	37.2	1,943.57	23.3	98.1	—
(期末)						
2021年7月26日	38,329	33.5	1,925.62	22.1	98.7	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2020年7月28日から2021年7月26日まで)

基準価額等の推移



第21期首：28,712円
第21期末：38,079円
(既払分配金250円)
騰落率：33.5%
(分配金再投資ベース)

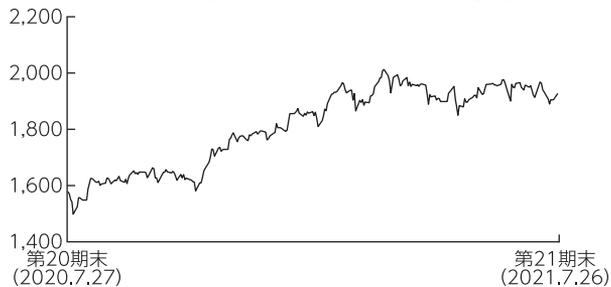
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

インターネットビジネスの普及拡大により、高い利益成長が期待できる企業の株式を中心に投資を行いました。基準価額は保有銘柄の株価パフォーマンスが良好だったため上昇しました。

投資環境

(ポイント) <東証株価指数 (TOPIX) の推移>



期首から10月までは、新型コロナウイルスの感染再拡大や米大統領選を控えて上値が重い展開となりました。10月から3月にかけては、米追加経済対策に向けた動きが好感されたことに加えて、新型コロナウイルスのワクチン普及による経済正常化への期待が高まったことから、上昇が続きました。その後は、米金融緩和政策の見直しへの警戒から上値が重い展開となりましたが、世界的な景気回復期待に支えられ、高値圏での推移が続きました。

ポートフォリオについて

「インターネットの各種インフラを構築する企業」や「インターネットをビジネスのインフラとして活用する企業」に該当する銘柄を中心に投資を行いました。具体的には、ブイキューブ、ユーザベース、ラクスルなどを新規に購入しました。一方で、株価に過熱感の見られる銘柄については売却を行っています。主な売却銘柄は、オークファン、アルファポリス、オープンドアなどです。株式組入比率につきましては、期を通じて高位の水準を維持しました。

【組入上位10業種】

(単位：%)

期 首		
順位	業 種	比率
1	情報・通信業	41.1
2	サービス業	29.0
3	電気機器	13.4
4	機械	4.2
5	不動産業	2.6
6	ガラス・土石製品	2.0
7	医薬品	1.6
8	保険業	1.3
9	卸売業	1.1
10	化学	1.0

(単位：%)

期 末		
順位	業 種	比率
1	情報・通信業	40.3
2	サービス業	32.0
3	電気機器	19.1
4	機械	3.8
5	不動産業	1.5
6	化学	1.4
7	非鉄金属	0.7
8		
9		
10		

【組入上位10銘柄】

(単位：%)

期 首		
順位	銘 柄	比率
1	バリューコマース	2.6
2	S H I F T	2.4
3	チェンジ	2.4
4	GA technologies	2.2
5	S Bテクノロジー	2.1
6	アイティメディア	1.9
7	ラクーンホールディングス	1.9
8	オプティム	1.9
9	メディカル・データ・ビジョン	1.8
10	エス・エム・エス	1.8

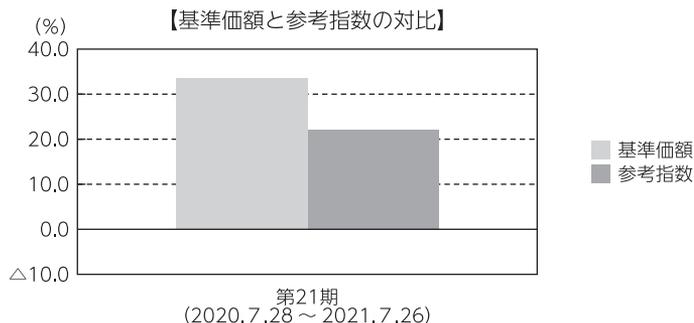
(単位：%)

期 末		
順位	銘 柄	比率
1	日置電機	2.3
2	マネジメントソリューションズ	2.2
3	S H I F T	2.0
4	トレックス・セミコンダクター	2.0
5	K O A	1.9
6	インソース	1.9
7	バリューコマース	1.9
8	ラクスル	1.8
9	大真空	1.8
10	ラクーンホールディングス	1.7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2020年7月28日 ～2021年7月26日
当期分配金（税引前）	250円
対基準価額比率	0.65%
当期の収益	250円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	28,078円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

今後の国内株式市場は、米金融緩和政策の見直し議論の高まりには留意が必要ですが、新型コロナウイルスのワクチン普及による経済正常化への期待などから、高値圏での推移が続くと予想します。当ファンドの運用においては、目論見書に記載された投資方針に則り、これまで同様「インターネットの各種インフラを構築する企業」、「インターネットをビジネスのインフラとして活用する企業」に該当する銘柄を中心に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指してまいります。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第21期		項目の概要
	(2020年7月28日 ～2021年7月26日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	571円	1.613%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は35,436円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(272)	(0.768)	
(販売会社)	(272)	(0.768)	
(受託会社)	(27)	(0.077)	
(b) 売買委託手数料	24	0.068	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(24)	(0.068)	
(c) その他費用	8	0.022	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(7)	(0.021)	
(監査費用)	(1)	(0.002)	
合計	603	1.703	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

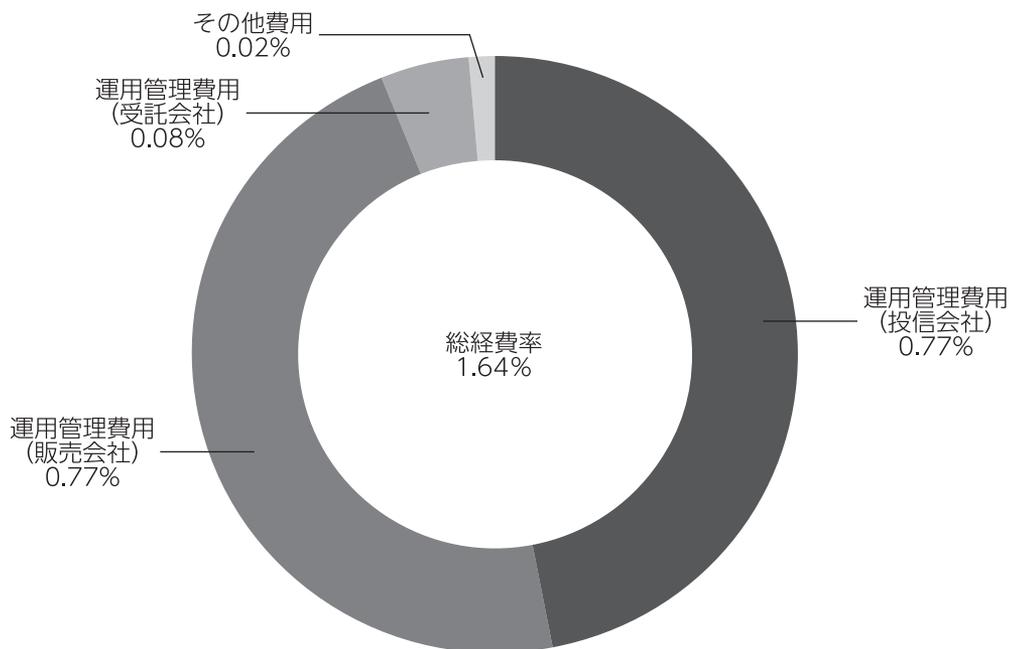
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.64%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2020年7月28日から2021年7月26日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 1,494.7 (183.2)	千円 2,795,203 (-)	千株 1,507.2	千円 3,556,469

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	6,351,673千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	4,915,105千円
(c) 売 買 高 比 率(a) / (b)	1.29

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2020年7月28日から2021年7月26日まで)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 2,795	百万円 243	% 8.7	百万円 3,556	百万円 133	% 3.8

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期
	買 付 額
株 式	百万円 21

(3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	3,506千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	205千円
(B) / (A)	5.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
パルプ・紙 (－)				
ニッポン高度紙工業	19.3	－		－
化学 (1.4%)				
ダイトーケミックス	－	24.1	23,136	
トリケミカル研究所	4	16.5	49,582	
医薬品 (－)				
JCRファーマ	3.1	－	－	
ヘリオス	25	－	－	
モダリス	0.8	－	－	
ガラス・土石製品 (－)				
日東紡績	8.7	－	－	
MARUWA	5.1	－	－	
非鉄金属 (0.7%)				
昭和電線ホールディングス	－	20.9	36,407	
機械 (3.8%)				
三浦工業	15	－	－	
NITTOKU	14.6	17	66,725	
ヤマシンフィルタ	26.3	－	－	
エヌ・ピー・シー	－	54.5	52,102	
タツモ	－	19.9	34,367	
技研製作所	12.8	－	－	
黒田精工	－	16	43,952	
電気機器 (19.3%)				
トレックス・セミコンダクター	34.8	34.8	103,077	
イーPEX	22.8	22.6	57,675	
ヴィスコ・テクノロジーズ	15.5	－	－	
ワコム	108.6	53.6	35,376	
EIZO	－	11	52,415	
鈴木	37	－	－	
ヨコオ	27.7	29.4	77,616	
スマグコーポレーション	47.7	64.7	86,633	
エヌエフホールディングス	5.5	10.2	18,431	
日置電機	13.4	16.9	118,807	
コーセル	－	40.7	41,310	
イリソ電子工業	12.7	14.8	77,848	
日本セラミック	21.4	21.5	61,855	
芝浦電子	－	15	74,850	
日本シイエムケイ	99.5	－	－	
大真空	－	25.9	92,333	
太陽誘電	19.3	－	－	
KOA	51.3	58.9	97,950	
精密機器 (－)				
朝日インテック	6	－	－	
情報・通信業 (40.8%)				
WOW WORLD	16	29	59,218	
ラクーンホールディングス	77	36.4	89,434	
GMOベパボ	9	4.1	18,470	
ブレインパッド	9.3	11.4	50,616	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
オークファン	30.8	－	－	
デジタルハーツホールディングス	－	44.5	69,108	
ブイキューブ	－	6.6	16,493	
フィックスターズ	40.8	34.3	27,542	
CARTA HOLDINGS	38.6	38.8	73,642	
オプティム	24.7	20.6	43,486	
SHIFT	9.3	5.2	105,248	
セック	14.4	18.8	50,008	
GMOペイメントゲートウェイ	1.5	－	－	
アドバンスト・メディア	32.6	－	－	
マークラインズ	21.4	25.9	76,171	
メディカル・データ・ビジョン	56.9	36.2	75,477	
データセクション	42.9	51.9	20,292	
アイリッジ	－	24.5	18,767	
PR TIMES	10	22.2	72,261	
ダブルスタンダード	－	10.9	57,334	
オープンドア	24	－	－	
はてな	9.8	－	－	
チェンジ	12.7	17.3	46,658	
ユーザベース	－	9.8	23,902	
イノベーション	7.9	3.6	10,836	
オロ	20.7	23.2	88,624	
ユーザーローカル	14.1	29	55,564	
テモナ	32	－	－	
マネーフォワード	6.3	12.8	87,936	
スタメン	－	29	26,941	
GMOフィナンシャルゲート	－	0.7	14,357	
SUN ASTERISK	0.2	－	－	
日本情報クリエイト	0.2	－	－	
ニューラルポケット	－	4.7	20,421	
プラスアルファ・コンサルティング	－	9.7	25,588	
ブレインズテクノロジー	－	0.1	178	
KAIZEN PLATFORM	－	24.5	35,353	
ラクスル	－	17.2	95,632	
ZUU	9	26.1	44,683	
チームスピリット	18.5	－	－	
VALUENEX	11.5	17.5	17,797	
Kudan	2.8	－	－	
ミンカブ・ジ・インフォノイド	25.7	19.6	70,266	
WELBY	18.8	18.2	20,402	
Sansan	11	8.1	72,657	
CHATWORK	17	－	－	
AI CROSS	－	27.6	56,359	
マクアケ	8.2	－	－	
JMDC	6.6	13.8	84,318	
ビザスク	14	12.2	50,325	
ロコガイド	－	7.9	17,459	
SBテクノロジー	23.9	20.1	61,305	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
デジタルガレージ	14	16.1	76,958
アルファボリス	18.3	—	—
ビジネスブレイン太田昭和	40.1	41.6	72,550
卸売業 (-)			
ミスミグループ本社	18.2	—	—
保険業 (-)			
アニコム ホールディングス	12.8	—	—
不動産業 (1.5%)			
GA technologies	14.4	24	48,408
毎日コムネット	24.4	36.1	27,941
サービス業 (32.4%)			
アイティメディア	49.3	22.8	48,381
FRONTEO	—	37	45,103
エス・エム・エス	32.1	8.2	25,297
イオレ	—	5.5	8,211
ベネフィット・ワン	19.5	—	—
プラップジャパン	14.2	14.2	19,454
オールアバウト	37	66	52,272
バリューコマース	35	28.2	97,290
インフォマート	36.8	—	—
イトクロ	16.5	—	—
イー・ガーディアン	14.3	18.8	54,219
ジャパンマテリアル	38.5	40.9	54,233
アクトコール	38.9	—	—
バリューHR	14.7	26.9	43,820
アライドアーキテツ	—	53.2	47,773
シグマクス	33.1	31.3	77,874
フリークアウト・ホールディングス	—	19	29,032
メドピア	13.9	5.1	22,236
レアジョブ	21.6	24.9	41,134
エラン	33.2	62.4	76,065
メタップス	—	33.2	40,304

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
鎌倉新書	32.6	56.2	54,907
SMN	51.6	71.6	56,206
LITALICO	19	—	—
エアトリ	—	11.4	28,853
ストライク	11.3	—	—
インソース	21.8	39.1	97,750
MS-Japan	36.1	63.7	72,044
ソウルドアウト	21.9	22	40,590
マネジメントソリューションズ	31.6	41.8	112,400
識学	20.9	37.5	55,125
ギークス	19	30.5	48,373
フィードフォース	—	35	30,310
Macbee Planet	—	12.7	88,646
グッドパッチ	—	9.5	25,726
ダイレクトマーケティングミックス	—	6.8	25,908
LITALICO	—	15.5	80,600
リログループ	21.2	—	—
船井総研ホールディングス	22.2	27.1	69,403
合 計	株 数	株 数	千円
	2,288	2,458.7	5,148,992
	銘柄数 <比率>	99銘柄	97銘柄 <98.7%>

(注1) 銘柄欄の () 内は、期末の国内株式評価額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の < > 内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2021年7月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
	5,148,992	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	148,956	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	5,297,949	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、47千円、0.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年7月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.54円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月26日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,297,949,665円
コール・ローン等	144,808,115
株式(評価額)	5,148,992,800
未 収 配 当 金	4,148,750
(B) 負 債	79,845,016
未 払 金	1,218,260
未 払 収 益 分 配 金	34,258,650
未 払 解 約 金	3,371,644
未 払 信 託 報 酬	40,956,985
そ の 他 未 払 費 用	39,477
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	5,218,104,649
元 本	1,370,346,036
次 期 繰 越 損 益 金	3,847,758,613
(D) 受 益 権 総 口 数	1,370,346,036口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	38,079円

(注) 期首における元本額は1,567,548,600円、当期中における追加設定元本額は435,124,902円、同解約元本額は632,327,466円です。

■損益の状況

当期 自2020年7月28日 至2021年7月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	33,009,535円
受 取 配 当 金	33,053,317
受 取 利 息	141
そ の 他 収 益 金	4,155
支 払 利 息	△48,078
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,156,338,854
売 買 益	1,782,077,110
売 買 損	△625,738,256
(C) 信 託 報 酬 等	△83,762,931
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	1,105,585,458
(E) 当 期 繰 越 損 益 金	527,221,697
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,249,210,108
(配 当 等 相 当 額)	(1,776,945,652)
(売 買 損 益 相 当 額)	(472,264,456)
(G) 合 計(D + E + F)	3,882,017,263
(H) 収 益 分 配 金	△34,258,650
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	3,847,758,613
追 加 信 託 差 損 益 金	2,249,210,108
(配 当 等 相 当 額)	(1,776,945,652)
(売 買 損 益 相 当 額)	(472,264,456)
分 配 準 備 積 立 金	1,598,548,505

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	30,680,926円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,074,904,532
(c) 収 益 調 整 金	2,249,210,108
(d) 分 配 準 備 積 立 金	527,221,697
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a + b + c + d)	3,882,017,263
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	28,328.74
(g) 分 配 金	34,258,650
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	250

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金	250円
------------------	-------------

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。